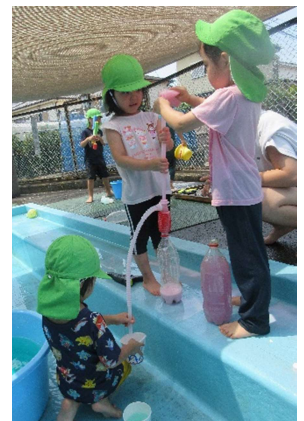


幼児クラスの水遊び



もも組(3歳児)は、水遊びが大好きな子が多く、全身で楽しんでいます。水遊びだけでなく感触あそびとして、絵の具を使って窓に大きく絵を描いてみました。初めはドキドキしていましたが楽しくなると、どんどんダイナミックになり指で描く感触を楽しみ「色が変わった〜!」と色の変化にも気づいています。泥遊びも砂場に水が溜まってくると船や葉っぱを浮かばせて楽しんでいます。園庭の方まで流れていった水に触れ「あったか〜い」「きもちいい!」と気づきや発見を楽しみながら友達との関わりも増えています!



ひまわり組(4歳児)は、色水遊びが大好き!赤、青、黄、白の色水をシャンプーボトルのような容器に用意すると、ポンプを押して色を混ぜることが楽しくて仕方がない様子。初めは全色混ぜて、みんな同じ色になっていましたが、色水遊びを繰り返すうちに、「赤と青で紫になった!」「赤と白はピンクだよ!」などと気付くようになり、だんだんと「緑を作るには・・・?」と考えて、色の分量を調整しながら、試すようになりました。同じ緑でも、色の混ぜ方によって、抹茶ミルクに見立てたり、メロンソーダに見立てたり…。友だちとイメージを共有しながら、協力して、色々な発見から様々な遊びを展開しています。



ゆり組(5歳児)は、泥んこ遊びをしながら、意見を出し合っていたのですが、互いのイメージが共有できなかったことをきっかけに、明日における泥遊びミーティングを開くことになりました。子ども達の意見を保育士が絵にして描くと、「ここに、おおきいやまをつくりたい!」「かわつくろう」「トンネルもつくりたい」等更に意見を出し合うことができました。次の日は、友達同士で「トンネルつくっていい?」「もっとおおきくするから、もうすこしまって」「(トンネル)つながったね!」とイメージを共有したことで、どんどん遊びが展開されていきました。友達とイメージを共有し協力する力も更に高まってくれた泥んこ遊びでした。